

令和7年度 学力向上に係る取組事例

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進 加須市教育委員会・加須市立花崎北小学校・加須市立昭和中学校

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を目指した取組事例

事例1

加須市立花崎北小学校の取組

「一人の発見がみんなの学びに ～クイズでつながる読書活動～」

- 学年・教科名 第3学年・国語
- 单元名 本で知ったことをクイズにしよう
～読んで発見！「びっくりカード」を集めて、クイズ大会を開こう！～
- 身に付けさせたい力 ①いろいろな本を読み、読書のよさに気付く力
②読書をして、初めて知ったことをクイズにして伝える力

单元全体の計画

- 1 「クイズ大会を開く」という単元のゴールを知る。
- 2 「びっくりカード」を使ったクイズの作り方を知る。
- 3 自分が選んだ本を読んで「びっくりカード」を書く。
- 4 「びっくりカード」を使ってクイズを作る。
- 5 クイズ大会を開く。

協

- ・「鳥になったきょうりゅうの話」を読んで、初めて知ったことや興味をもったことを「びっくりカード」に書き出し、どんなことに興味をもったのか友達と共有した。
 - ・「びっくりカード」を並べ替えて整理し、どんなクイズを作るとよいかを学級全体で考えた。
- 同じ課題で進めることで、クイズの作り方を理解できた。

個

- ・自分が選んだ本を読んで、初めて知ったことや興味をもったことを「びっくりカード」に書き出した。
 - ・「びっくりカード」を並べ替えて整理し、どんなクイズを作るとよいかを考えた。
- 一人一人が興味のある本を選んでいるため、学習に意欲的に取り組むことができた。クイズの数も自由に決められるようにしたことで、児童の進度や理解に合わせて活動を進めることができた。



協

- ・クイズ大会を開き、正解だけにこだわるのではなく、友達のクイズを聞いて心に残った内容について学級全体で交流した。
 - ・気になった本を読む時間も設定した。
- 友達が発表した本に興味をもち、様々な本を手にとって読む様子が見られた。
- ・全校での読書集会を発表の場に、学習の成果をみんなに伝えられるようにした。
- 全校に分かりやすいクイズを作ろうという目的意識が高まった。本の面白さが全校に伝わり、読書への関心も広がった。



成果

一人一人が学んだこと(例:自分の興味に合わせて選んだ本から発見したこと)を仲間との交流の中で生かし、その交流がさらに個々の学び(例:新しい本への関心)を深めるきっかけとなり、互いに高め合う学び合いができた。

事例2

加須市立昭和中学校の取組

「教科の特性を踏まえ、効果的な学習形態（アクティブタイム）と振り返りを取り入れた指導の工夫」

- 学年・教科名 第3学年・国語
- 単元名 悩める後輩に贈る言葉「論語」
- 身に付けさせたい力 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする力

1 「アクティブタイム」と「振り返り」の設定

本校では、「思考力、判断力、表現力等」の育成を重点とした「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた手立てとして、アクティブタイムを設定している。学習場面に応じて、効果的な活動となるように以下のような学習形態を取り入れている。これは、協働的な学びへの一助となると考える。

学習形態：「ペア（2人組）」・「カルテット（4人組）」・「グループ（5人以上）」
「フリー（多数）」の4種類

また、全職員の共通理解のもと、全教科、授業の終末で「学習の振り返り」を実施し、一単位時間の授業の流れの統一化を図っている。生徒の振り返りの状況を教員が適宜把握し、次時以降の指導に生かすことによって、個別最適な学びの充実に繋げている。

2 展開（第2時/全2時間）

	学習活動	学習内容・指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習を振り返り、本時の学習課題を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習を想起させることで、全員が安心して授業に臨めるようにする。
	学習課題 後輩の悩みを解決するための、最適な論語とは何か。	
展開	<ul style="list-style-type: none"> 「論語リスト」の中から後輩の悩みを解決するための言葉を一つ選び、後輩に贈る文章構成案をタブレットで作成する。 →個人での活動（個別最適な学び） 構成案をグループで推敲する。 →アクティブタイム【カルテット】（協働的な学び） 	<ul style="list-style-type: none"> 論語の教えの意味について知る。 自分の考えをまとめる時間を十分に確保する。 構成案の作成が難しい生徒には、ヒントカードを配布し、全員が作成できるよう支援する。（個別最適な学び） 推敲の仕方について知る。 カルテットでの意見交換を通し、孔子の考え方について積極的に自分の意見をもち、「論語」の言葉を引用して後輩に贈る文章を書こうとしている。（協働的な学び）
終末	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめをする。 学習の振り返りをする。 →個人での活動（個別最適な学び） 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの生活と関連付けながら、孔子の考え方を捉えようとしている。 学習課題を再度振り返らせ、何が分かったか、何ができるようになったかを自分の言葉でまとめさせる。（個別最適な学び）

3 参考資料（第1時板書）

